

矢嶋 翼・木村 司・金澤 俊・竹田 秀泰
宇多 春美・板谷 良久・喜多 新二・山谷 芳則

新 緑



矢嶋 翼 議員

★次年度からの小学校英語授業実施の取り組みについて質問し、外国人指導助手（ALT）の活用強化と、中学英語教員の小学校乗り入れ授業実施検証のため、一つの中学校区を連携研究として取り組みと答弁がありました。また、夏休みにまちなかでALTによる「イングリッシュ・カフェ」を開設し、気軽に英語に触れられる機会をつくると答弁がありました。

★まちの活性に意欲をもつ市職員有志による、仮称「とまごまい盛り上げ隊」結成を提案し、職員が地域での活動や活性化のために汗を流すことは重要で、チーム結成への展開も検討すると答弁がありました。



木村 司 議員

★総務常任委員会において、新たな行革プラン素案について質問しました。市では、職員の削減など量的改革ならびに民間活用を進め

てきました。現プランでは、行政費用の抑制と市民サービス向上という難問にチャレンジし「総合窓口」が象徴的な取り組みとして結果しました。新プランでは、発想の転換により「まだないもの」を創り上げる取り組みを積極的にして「総合窓口」の成功例をもとに「ふくしに関する総合窓口」の検討などを始めていきたいことと「行革プラン」と「新地域情報計画」との整合性・連動・連携を重視し一層の市民サービス向上に繋がりたいとの答弁がありました。



金澤 俊 議員

★今定例会の厚生常任委員会にて「苦小牧市防犯カメラ設置5カ年実施計画（案）」が示されました。現在、防犯カメラの設置は市内で334台。計画案によれば20年度からの5カ年で15台の設置が予定されていますが、市全域を網羅するにはまだまだ設置が必要です。そのため、市全体で必要な台数及び費用を算出し、**全体計画を策定**

した上で、各実施計画を進めることを今後検討すべきと提案させていただきます。防犯のまちづくりのため、犯罪の抑止と犯罪発生後の事件解決には不可欠な防犯カメラの設置を今後も促進してまいります。



竹田 秀泰 議員

★高齢者ドライバー対策について18年6月に引き続き質問し、今議会、国は20年度より高齢者を対象に安全運転支援装置の購入補助制度を検討しており、苦小牧市も令和3年度実施に向け、アクセルとブレーキの踏み間違いによる急発進の防止装置の後付などの補助制度を検討中であると答弁がありました。

★20年度から始まる新たな待機児童解消に向け認定こども園への移行、小規模保育園増設の考え方が示され、保育士確保が非常に重要であり、**保育士確保に向け市の補助制度創設を検討できないか**質問し、新たな取り組みについて精査したいと答弁がありました。



宇多 春美 議員

★カンボジア訪問の子ども国際交流事業において、11名の中高生がSDGsを通し素晴らしい学びをしました。市もSDGsのゴールを各施策に位置づけるとともに、市民や企業市民にSDGsの取り組みを広げようことを求めました。

★高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施において、高齢者自らが地域づくりの担い手となり、健康と生きがいに繋がるよう、誰もが集い活動ができる「通いの場」の取り組みを求めました。

★産前・産後ケアについて、Momsサロン事業の回数を増やすことと、子育て支援センターに保健師・助産師を常設し、産前産後の母子に寄り添うことを求めました。



板谷 良久 議員

★環境アセスメント（環境への影響を事前に調査すること）が必要ではない50ヘクタール未満の開発